

震災の影色濃く反映

東日本大震災の発生から1年が経過しましたが、この震災により、わが国の経済活動、社会生活は多大な影響を受けました。当市においても、福島第一原発の事故に関連し政府からの要請で浜岡原子力発電所が停止したままの状態が続いています。

事業の選択と集中を

平成24年度の市の予算は、原子力関連交付金の減額、また、円高による雇用の悪化・企業収益の落ち込みなどによる税収減から歳入の見込みが一段と厳しくなる中、地域の将来や市民生活の向上につながる事業を選択し集中的に予算配分しました。

事務事業の効率化による歳出の削減、また、税などの収納率向上、使用料などの受益者負担の見直しなどに取り組み一方、災害に強いまちづくりを進め、市民の安全・安心を第一に考え事業に取り組んでいきます。地震・津波対策の充実はもとより、大規模災害時の多様なニーズに対応するため、災害時等の相互応援協定を結んでいる長野県高森町、山梨県甲斐市、中央市及

石川県羽咋郡志賀町・静岡県御前崎

災害時等の相互応援に関する協定書



2月27日、「災害時等の相互応援に関する協定書」に調印し、小泉勝 志賀町長と握手を交わす石原市長

平成24年度始動